

「魅力ある授業づくり」への一歩

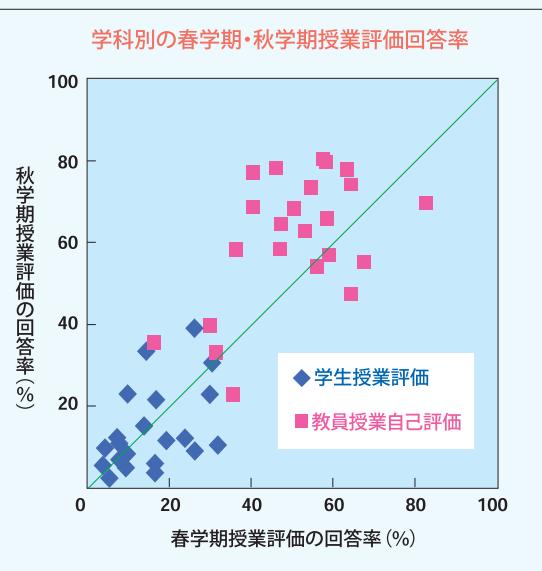
2008年度春学期・秋学期授業評価の回答率

2008年度の「授業評価」の結果はWebで在学生・教職員向けに公開していますが、皆さんには見られましたか？またどう思われましたか？先生方からのメッセージも多く公開していますので、ぜひご覧ください。ここでは『魅力ある授業づくり』の一環として実施した「授業評価」の分析について皆さんに報告し、有効に活用したいと考えています。

まず、学生による授業評価が回答率の低下を招く結果となつたと考えられます。ですが、学生の皆さんのがんばりなくして『魅力ある授業づくり』はありません。学生の皆さんの参加をお願いします。

下のグラフは、学科別に春

学期と秋学期の回答率を比較したものです。グラフ中の45度線（グラフの中の緑色の線）よりも上に分布する学科は、秋学期の回答率が伸びたことを示しています。学生による



授業評価は回答率が増加しました。学科もありますが、減少した学科もほぼ同数あり、より多くの皆さんにその声を届けてほしいと考えます。一方、教員による授業自己評価の回答率は増加した学科が多いので、その分布も50%を境に2つに分かれ、本学の『魅力ある授業づくり』の趣旨からも、特に低い4学科をはじめ、教員もより授業を振り返る必要があるといえましょう。『魅力ある授業づくり』には、学

生と教員互いの授業への意識（思い）を知ることが第1です。そのためにも、学生の皆さんに授業評価へのより多くの参加を期待し、教員もさらに努力を続けます。

次回は、自由記述についての分析を報告します。自由記述は、Web上の書き込みやする授業づくりの趣旨からも、皆特に低い4学科をはじめ、教員もより授業を振り返る必要があるといえましょう。『魅力ある授業づくり』には、学

（大学教育研究センター）